

# おぎ市議会だより

2015.2月号  
Ogi city



## ニュース／12月議会

表紙 だいてんまんじんじゃしきやくもん 大天満神社四脚門

- 年頭のあいさつ .....P 2
- 平成26年度一般会計・特別会計補正予算  
.....P 2～3
- 主な事業 .....P 3～4
- 平成25年度一般会計・特別会計・企業会計  
決算を認定 .....P 4～5
- 会議結果 .....P 6
- 常任委員会報告 .....P 7
- 一般質問 .....P 8～15
- 視察研修報告 .....P 16
- 議員活動あれこれ  
3月定例会(予定) .....P 17
- 地域の学び舎 .....P 18

## 年頭のあいさつ



小城市議会  
議長 中島 正之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年7月3日に市内で発生した集中豪雨に伴う道路冠水により、各所で通行規制があり、市民生活をはじめ、市内経済に大きな影響を及ぼしました。

この経験により、私たちは災害に対する備えの必要性を改めて痛感すると同時に、一方で町内会関係者による独居高齢者の安否確認や避難所における市民団体のボランティア活動など、助け合い、支え合う『地域力』の大切さを再認識することにもなりました。

さて、小城市議会は昨年、『小城市議会基本条例』に掲げる理念のもと、多くの市民の皆さまの意見をお聞きするため、市内4か所において議会報告会を精力的に取り組んでまいりました。

今後も、さまざまな市政課題の解決に向け、市民の皆さまの声を十分お聞きし、活発な議論を重ねるとともに、市議会の改革・活性化に引き続き取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。

どうかこれからも力強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸せて実り多く、飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 平成26年度

## 一般会計・特別会計補正予算を承認

平成26年度 一般会計補正予算(第3～6号)は、  
3億971万円を増額し、213億2,104万円

平成26年12月定例会は11月27日から12月18日までの22日間開催され、8件の平成25年度決算認定を含む33件の議案が提出され、慎重審議の上、可決された。

歳入の主なものは、ふるさと納税額の増加によるものが最も多く、固定資産税を中心とした市民税、国・県支出金の増加、また財源調整のための基金繰入金の減少などである。

歳出の主なものは、「ふるさと納税推進事業」の報償費(品代)、障害者福祉費などの民生費、都市計画街路事業などの土木費などである。

またこれら以外には、専決処分により、衆議院議員選挙費用と県知事選挙費用が、国・県支出金により補正されている。

# 平成26年度 12月補正予算の状況

## 一般会計・特別会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（第3～6号）	210億1,133万円	3億971万円	213億2,104万円
授産場特別会計	2,571万円	—	2,571万円
簡易水道特別会計（第1号）	718万円	—	718万円
下水道特別会計（第1号）	25億6,622万円	920万円	25億7,542万円
国民健康保険特別会計（第3号）	57億3,738万円	240万円	57億3,978万円
後期高齢者医療特別会計	4億9,782万円	—	4億9,782万円

## 企業会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
水道事業会計（第2、3号）	6億2,482万円	112万円	6億2,595万円
病院事業会計（第1号）	16億8,727万円	747万円	16億9,474万円

※単位未満の額は切り捨てています。

## < 補正予算の主なもの >

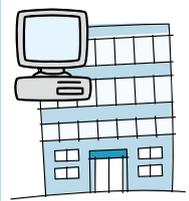
事業名	補正予算額	事業名	補正予算額
ふるさと納税推進事業	7,438万円	協働によるまちづくり推進事業	128万円
天山地区共同環境組合事業	959万円	社会保障・税番号制度の創設に伴うシステム	98万円
認可外保育施設運営支援事業	632万円	青年就農給付金給付事業	75万円
市道小城公園・本告線歩道設置事業	173万円	自立支援医療給付事業	69万円

## < 専決処分による補正 >

内容	補正予算額	内容	補正予算額
県知事選挙費用	2,485万円	衆議院議員選挙費用	2,006万円

## 主な事業

### 総務・企画



市制施行10周年記念  
シンポジウム事業

6万2千円

平成27年3月1日に、旧小城郡4町の合併により誕生した小城市は10周年を迎える。シンポジウムの統一テーマは「人口減少社会を生き抜く、まちづくりを探る」。3月1日にドゥイニング三日月にて、記念式典とアトラクション、基調講演、パネルディスカッションを実施する。

### ふるさと納税推進事業

7,438万円

小城市外に在住する方へ、小城市を応援していただくために、ふるさと

納税（寄附金）を推進している。寄附金額に応じて、お礼に「小城の逸品」を進呈している。インターネット上のサイトに掲載したところ、予想以上に寄附申し込みが増加した。

協働によるまちづくりを推進する事業

1,200万円

住民ニーズの多様化により、地域が抱える課題は複雑化している。住民自ら地域の課題に向き合い、行政と一体となってまちづくりを総合的に進めていく中で、諸団体の代表による「検討委員会」の開催回数を増やしたり、「アンケート」を実施する。

### 教育・文化・福祉



自立支援医療  
(育成医療)給付事業

69万円

身体に障がいがある18歳未満の児童又は現在の状態をそのままにする  
と将来的に障がいが残る  
児童に、手術等の医療に  
係る費用の一部の給付を行う。



認可外保育施設運営  
支援事業

632万円

認可外保育施設「おひさま保育園」は認可保育所へ向けて準備しているが、平成27年4月1日開設までの運営に要する費用の一部として補助金を交付する。

青年就農給付金事業

75万円

青年新規就農者に対して就農時の負担軽減のための給付事業。対象者の増加による増額。



市道小城公園・本告  
線歩道設置事業

173万円

市道小城公園・本告線の歩道設置事業が進む中で、家屋補償等が増加したため。



産業・建設

平成25年度  
一般会計・特別会計・企業会計 決算を認定

9月29日から10月9日までの11日間にわたり、平成25年度一般会計・特別会計・企業会計の決算審査特別委員会を開催。

市の各事業を行う一般会計、国民健康保険などの特別会計、さらに水道・市民病院の企業会計について慎重な審議を重ね、すべての決算について認定した。特別委員会において執行部と交わされた質疑は次のとおりです。

財政の展望について

**問** 地方交付税の増加の大部分は、起債償還の措置分が入っていると思うが、中期的な展望はどう考えているか。

**答** 財政の中期的な展望としては平成27年度から合併優遇措置が5年をかけて段階的に削減される。平成32年度以降は、現在の額から約18億円の縮減が見込まれる。

未収金対策について

**問** 税の収納率は年々向上していることは評価するが、市民間に不公平が生じないよう一層の未収金対策を。また、保育料、育英資金等の徴収についても市内での横断的な体制を整え、連携を図り、徴収の効率化に努めているか。

**答** 税の収納は、滞納者の財産調査や差し押えを行い、収納率の向上に努めている。また、コ

ンビニ収納など納付機会の拡大や利便性の向上に努めている。保育料や育英資金などについては一元的な管理が難しい面もあるが、共有できる情報の連携や滞納処分に必要な手続きなど市内の連携を図り、徴収率の向上に努めていきたい。

運動公園跡地の利活用について

**問** 運動公園跡地は平成24年度から土地開発基金から一般会計に買い戻しているが、市長の施政方針、所信表明で運動公園跡地について触れられていない。運動公園跡地の利活用について早急に方向性を示すべきではないか。

**答** 運動公園用地として土地開発基金で取得した13ヘクタールについては、事業開始年度の平成12年度に一部買戻しをしている。その後事業が中止となった後は、土地開発基金のままである。

市単独補助金の情報開示は

**問** 市から様々な団体に補助金が交付されているが、補助金を出す側の管理監督責任と透明性を確保するため、決算書や事業報告書等の提出を含め、情報開示を積極的に行っていくべきではないか。

**答** 市内の各種団体に補助金を交付しているが、それぞれ補助金交付要綱等に基づいて、事業完了時には実績報告や収支計算書を提出して頂いている。情報の公開は、1/2以上を出資している法人や100万円以上の補助金を受けている団体で情報開示条例の適用を受ける場合は、その情報の公開が可能と考えられる。それ以外の場合は、決算書や事業所の情報開示を行うことは一部規制

があると考えている。

### 情報化教育を進めているが効果は出ているか

**問** 市内小中学校の情報化教育の推進に多額の支出を行っている。ICT（情報通信技術）の活用により授業の情報化で授業改善、学力向上を目指すということだが、その効果は出ているか。

**答** ICTについては、学習の一つのツール（道具）として取り入れられている。画面等を通じて子どもの関心意欲を高める授業改善に取り組んでいる。授業についての興味・関心を高めるためにICT等を授業で使うことについてはいいと感じている子ども達の割合は、県や国の平均よりも高い。学力向上を図るため、ICTを取り入れた公開授業に取り組んでいる。

### 空店舗対策の効果はでているのか

**問** 中心市街地活性化事業の地区内で空店舗対策の補助（限度額250万円）は他の自治体と比較して大きい。事業効果が出ないうちにやめていく事例がある。その対策は。

**答** 中心市街地のにぎわいを創出するために期間を限定して行っているが、平成24年度採択したなかで要件とした営業期間途中にもかかわらず廃業された事例がある。そこで25年度新規採択からは経営状況の把握に努めている。また、やむを得ず営業を中止する場合には、補助金の一部は返還させる。

### 授産場の存続は

**問** 旧小城市時代から障がい者及び生活保護者の就業の場として運営されてきた経緯は理解するが、運営のために毎年

多額の費用が必要である。建物は老朽化が進み、利用者も減少している。

授産場の運営について今年度末までに方向性を出すべきではないか。

**答** 授産場については、第二次小城市改革プランの中で、建物等の老朽化に対する財政負担が難しいとの判断から、施設の廃止に向けた調整を25年度から検討するとしている。

今日では社会福祉法人やNPO法人など民間が運営する授産施設、作業所が増えている。また、授産場の利用者は減少の一途をたどっている。

廃止した場合には、授産場の利用者や、授産場の顧客である羊羹製造者等にも影響があるので、



授産場の運営に意欲のある福祉事業者等に移譲を考えなければならぬ。移譲を受ける福祉事業者がいなければ廃止となるので、羊羹組合等と協議をすることとなる。移譲するのか廃止にするのか早い時期に結論を出したい。

### 市民病院の経営は健全か

**問** 平成25年度より法律の全部適用を行い、管理者を筆頭に改革改善

に努められ、医業収益が増大したことは評価するが、今後、様々な外的要因も考えられる中で、経営健全化に向けて更なる努力が求められているが市としての考えは。

**答** 市民病院は、設立当初の目的や役割も時代の流れの中で変化し、自治体病院の本来の役割が問われている事や、ご指摘の外的要因として、例えば、近隣に民間病院が建設される影響を受けること、本年4月1日から診療報酬改訂によるもの、また、新公立病院ガイドラインの策定等、制度等の変更があることも理解している。

市民病院の経営形態やその役割、存在意義については、過去にも協議をしてきた。当院の建物は、建築後30年以上が経過し、かなり老朽化しており、建物や医療機器、各種設備の老朽化によって修繕費等が年々増えている事も事実である。近い将来大幅な改修ないし

建設等が切実な検討課題となっている。

当院は地域においてどのような役割を期待されるか、一方、どのようにすれば病院経営がうまくいくかなど、運営方法も含めて種々の観点から、自治体病院が将来どうあるべきか幅広く検討している。

なお、経営健全化については、診療報酬改訂等に対応できるような体制の整備とあわせて、地域包括ケア病床の導入や24時間対応の訪問看護ステーションの立ち上げの準備をしており、現在、在宅診療と訪問看護等の充実を図っている。

また、診療科目についても体制を検討しており、生活習慣病の予防や発見等にも引き続き取り組み。昨年から救急患者の受入れ件数も伸びており、救急は断らない体制で努める。

# 会 議 結 果

## 平成26年 第4回小城市議会定例会会議結果 (11月27日～12月18日)

議案番号	件 名	委員会付託	結 果
議案第50号	平成25年度小城市一般会計歳入歳出決算認定について	決算	認定 (賛成20・反対1)
議案第51号	平成25年度小城市授産場特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第52号	平成25年度小城市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第53号	平成25年度小城市下水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第54号	平成25年度小城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (賛成20・反対1)
議案第55号	平成25年度小城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定 (賛成20・反対1)
議案第56号	平成25年度小城市水道事業会計決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第57号	平成25年度小城市病院事業会計決算認定について		認定 (全員賛成)
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度小城市一般会計補正予算 (第3号))		総
議案第67号	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度小城市一般会計補正予算 (第4号))	承認 (全員賛成)	
議案第68号	組織機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例	可決 (全員賛成)	
議案第69号	小城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全員賛成)	
議案第70号	小城市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	可決 (全員賛成)	
議案第71号	小城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	文	可決 (賛成20・反対1)
議案第72号	小城市保育の実施に関する条例を廃止する条例		可決 (全員賛成)
議案第73号	小城市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例		可決 (全員賛成)
議案第74号	小城市小城駅前広場条例	産	可決 (全員賛成)
議案第75号	小城市営住宅条例の一部を改正する条例		可決 (全員賛成)
議案第76号	小城市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例		可決 (全員賛成)
議案第77号	工事請負契約の締結について (平成26年度三日月特定環境保全公共下水道事業三日月浄化センター設備工事)		可決 (全員賛成)
議案第78号	平成26年度小城市一般会計補正予算 (第5号)	総・文・産	可決 (全員賛成)
議案第79号	平成26年度小城市下水道特別会計補正予算 (第2号)	産	可決 (全員賛成)
議案第80号	平成26年度小城市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	総	可決 (全員賛成)
議案第81号	平成26年度小城市水道事業会計補正予算 (第2号)	産	可決 (全員賛成)
議案第82号	平成26年度小城市病院事業資本剰余金の処分について	文	可決 (全員賛成)
議案第83号	小城市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	総	可決 (全員賛成)
議案第84号	小城市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		可決 (全員賛成)
議案第85号	小城市国民健康保険条例の一部を改正する条例		可決 (全員賛成)
議案第86号	工事請負契約の締結について (平成26年度小城市牛津公民館改修工事)	文	可決 (全員賛成)
議案第87号	平成26年度小城市一般会計補正予算 (第6号)	総	可決 (全員賛成)
議案第88号	平成26年度小城市下水道特別会計補正予算 (第3号)	産	可決 (全員賛成)
議案第89号	平成26年度小城市水道事業会計補正予算 (第3号)		可決 (全員賛成)
議案第90号	平成26年度小城市病院事業会計補正予算 (第2号)	文	可決 (全員賛成)

付託委員会名 総…総務 文…文教厚生 産…産業建設 決算…決算審査特別委員会

### 議案等の賛否一覧 (全会一致以外のみ掲載)

中島正之議長は採決には加わりません

議案番号	議員名	松並陽一	永瀨和正	西正博	光岡実	富永正樹	諸泉定次	樋渡邦美	中島正樹	江島佐知子	深川高志	市丸典夫	岸川英樹	上瀧政登	香月チエミ	合瀬健一	松尾義幸	堤克彦	平野泰造	下村仁司	北島文孝	大坪徳廣
議案第50号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第54号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第55号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号		○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

# 委員会報告

12月8日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

## 総務常任委員会

**質問** 市政施行10周年記念シンポジウムの内容は。

**答弁** 平成27年度3月1日にドゥイング三日月において記念式典と基調講演「人口減少社会を生きぬくまちづくりを探る」をテーマにパネルディスカッションを行う。

**質問** ふるさと納税推進事業で市長が観光協会の会長を兼ねる事は都合が悪くはないか。

**答弁** 謝礼は観光協会に委託しているが、お金の動きもあるので市長とよく相談し今後の方針を定める。

**質問** 協働によるまちづくり推進事業について、4年間の事業展開が予定されているがその内容は。

**答弁** 地域・地区で協働による町づくりの組織を立ち上げていただき、望ましい形でのアンケート調査やワークショップ等、実践的な取り組みに対する活動に支援をしていく。



▲市民協働によるCSOフェスティバル

## 文教厚生常任委員会

小城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について次のやりとりがあった。

**質問** 放課後児童健全育成事業者とはどんな方か。また、事業者が民間となった場合、災害対策等、不都合はないのか。

**答弁** 小城市の場合は市が運営を行っているので責任は市。他県では民間で事業を実施されている所もあり、運営される事業者として官・民あわせるところで事業者との表現をしている。災害対策等については、きちんと安全管理を履行できるよう行政としても指導していく。事業者としては公設公営・公設民営・民設民営のパターンがある。その際の指導も市が行う。

**討論** 議案第71号において、放課後児童クラブの支援対象を「小学校1年生から3年生までの児童」と、条例の中にあえて限定している事に対し、県内他市町の条例では学年の制約のない自治体もあり、また、保護者アンケートからの要望の声をとりあげた議会の質問において、教育長は4年生以上も検討する旨の答弁もあった経過などから、反対する旨の討論があった。



▲放課後児童クラブの様子

## 産業建設常任委員会

**質問** 小城市小城市駅前広場条例について、駐車料金は誰が徴収するのか。メーター付きの機械で徴収すればよいのではないか。

**答弁** 現在の駐車場はJ.R.が料金の徴収をされているので、J.R.にお願いしたいと考えている。機械設置については、費用対効果の理由により、今回は断念した。

**質問** J.R.に料金徴収を委託すれば、委託料が発生するのか、また委託料を市で試算されているのか。

**答弁** 委託料は発生する。委託料については、年間30万円から50万円の範囲内で、J.R.と協議を行っている最中である。



▲整備が進む小城駅前



堤 克彦

## 資源磨き構想の進捗状況は

**市長** 財政状況を勘案 健康ベースにソフトの充実

**堤** 平成25年6月、アイル津の里温泉を中心とするスポーツ、医療連携の拠点づくりの説明があり、いろいろな事前の調査や聞き取りなど。26年度

**市長** 将来像を明確にした後、財政状況を勘案し

健康をベースにソフトの充実、可能であれば、ハード整備にも着手。

## 教育行政の重要性について

**堤** ① 芦刈観瀾

校の安全性。

② 幼・保民営化。

③ 県学力テストの公表。

④ 小城中生宇宙研

研究会の対応は。① 芦刈小学校建設検討委員会で、レイアウトについて検討、協議の中決定。② 民間運営に移管後、第三者協議会を持ち、諸事業に対して協議、合意形成を図る。③ 市全体の学習状況を分析、その結果を9月に市のホームページで公開。④ 同好会的な位置づけの研究會。部活動ではなく、そういう活動の場を保障する形でやっている。

## その他の質問

○ テニスコートの整備は



諸泉 定次

## 機構改革での人材育成の考えは

**市長** 専門性と人間を磨き意欲ある人を外向させたい

**諸泉** 来年4月からの機構改革の狙いと専門性の高い人材育成をどうするか。これまで10%の定員削減で定数を下回っており、住民サービス向上からどうするのか。

**市長** 仕事の専門性と精神的な部分の両方を磨きあげられる職員育成に努めたい。

職員定数条例では477名に現在452名。1割削減で仕事の負担も増えた。嘱託職員や日々雇用職員も増え419名で職員全体では非正規が48・1%。適正な仕事ができる体制を図り、県や一部事務組合、さらにも外向させたいが、今

の人員体制では無理である。

**諸泉** 嘱託職員や日々雇用職員の待遇改善。特に専門性の高い部署の嘱託

職員の間は5年までの雇用期間は見直すべきではないか。子供サポーターや保育園・幼稚園の非正規職員は人材確保が難しく待遇改善を図るべき。

**教育部長** 保育園や幼稚園のクラス担任の嘱託職員の待遇改善を図る方向である。

**市長** 嘱託職員の5年間雇用は国の法律改正等を踏まえ、見直しの検討をしたい。

## その他の質問

○ 財政再建の方策  
○ 環境美化運動について



▲資源磨き構想に期待



▲非正規の保育士の待遇改善は喫緊の課題



松並 陽一

## ICT教育の成果は

注) ICT教育：電子黒板やタブレット等の情報通信技術を用いた教育  
**教育長** 子どもたちが勉強に好意を持つようになった

**松並** 教員へのサポート体制が不十分ではないか。

**教育長** 教員へのサポートを目的としたICT

支援員は、25年度は4名だったが、26年度は2名となっている。今後は適正な人数の配置を検討していく。

**松並** タブレットを導入して1

年が経過したが、成績面での効果をどう考えているか。

**教育長** すぐに学力に結びつけ



▲電子黒板を使った授業風景

るのは難しい。これから教育委員会と教員がさらに研究を重ね、求められている学力向上を目指す。

**松並** 視力への悪影響に

ついて昨年12月実施のアンケートでは、小学生の回答者の15%、中学生の回答者の20%が、タブレットを使用した後の何らかの目の痛みを訴えていることをどう受け止めるか。

**学校教育課長** 昨年12月

実施のアンケート結果には、学校でのタブレットの使用後だけでなく、家庭での使用後についても含まれている可能性がある。今年度12月に実施するアンケートで、学校における使用後の実態を把握する。



光岡 実

## 公立保育園等の新たな再編計画は

**教育長** 29年度芦刈幼稚園、30年度岩松保育園民営化へ

**光岡** 小城市公立保育園・幼稚園の新たな再編計画は。

**教育長** 国の子育て政策や保育制度、幼児教育制度の見直しをなされ、そ

のため2年間にわたり、幼児教育審議会を開催し、公立保育園の民営化計画を見直し、公立幼稚園も含めた総合的な民営化計画の策定が必要であるとの答申を得て、ま

**教育長** 具体的な今後の展開としては、平成29年度に芦刈幼稚園、30年度に岩松保育園を民営化するスケジュールである。その取り組みとして、10月にそれぞれ保護者会を開催した。今後も、民営化を進める際の保護者説明会は必要であり、民間事業者決定後は、保護者、事業所、行政の三者協議会による話し合いも行う。

### その他の質問

○資源磨き構想調査事業について  
 ○道路行政について



▲30年度民営化が計画されている岩松保育園

**光岡** 再編計画遂行のための今後の取り組みと、展開について。



永瀨 和正

## なぜ悪くなった 小城市の財政

市長

大型事業で起債(借金)の返還が多くなった

**永瀨** 平成25年度の小城市の経常収支比率は93・2%。県内20市町でワースト3、市ではワースト1である。原因は何か。

とが悪化の要因の一つである。

**市長** 市の借金、その償還額が多くなっていること

**永瀨** 交付税の肩がわり措置としての臨時財政対策債(借金を除くと経常収支比率は99・7%。市の借金は343億円。このような現実を認識した上で、今後の財政運営をどう行おうか。

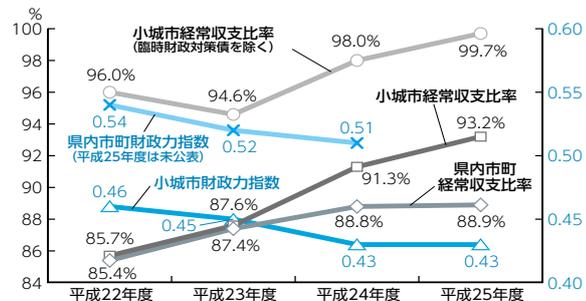
**市長** 現実をしっかりと受けとめなければならぬ。大型事業を行っている中で、27年度から交付税も少なくなる。事業の見直しが必要。

**市長** 地域の活力の創出と経済効果を期待して任せたい。

**市長** 現実をしっかりと受けとめなければならぬ。大型事業を行っている中で、27年度から交付税も少なくなる。事業の見直しが必要。

**市長** 地域の活力の創出と経済効果を期待して任せたい。

**その他の質問**  
○市営住宅の建設とあわせて都市基盤の整備について



### ▲一般会計決算・財政指標等の状況

**永瀨** (仮)まちなか市民交流プラザでは

主に市民課の窓口や水道課、公民館等市の職員が業務にあたる。経常収支比率が悪い中で「まちなづくり小城市」に経費を払ってまで、交流プラザの管理をさせる必要があるか。



▲建設が進む(仮)まちなか交流プラザ

**建設部長** 9月定例議会において12月議会に設置条例の上程を旨指すと考えを示していたが、条例の詳細について協議調整等に時間を要したために、今議会に上程できなかった。同じく仕様書案につい

**建設部長** 市としての明確な仕様書というものの提示が遅れていることが原因だと思ふ。  
**中島** 今後の対応と事業推進に対する気構えは。  
**副市長** 遅れている部分はあるが、鋭意その遅れを取り戻し頑張っていく。



中島 正樹

## (仮)まちなか交流プラザ 管理運営は

市長

(株)まちなづくり小城市を指定管理者と位置づける

**中島** 中心市街地活性化事業(仮称)まちなか市民交流プラザの維持管理、運営に関する現状と今後の方針は。

**市長** 基本計画に基づき、(株)まちなづくり小城市管理運営の担い手と位置づけ、連携協力協定を結び、指定管理制度の導入を目指して、両者で協議を進めている。

**中島** 事業提案をまちなづくり会社ができていないが、これまで遅れている理由はどこにあるか。



樋渡 邦美

## 西九州大学看護学部の新設要望について

市長

この誘致はぜひやっていきたいという思い

**樋渡** 平成26年10月18日付で大学より市長宛に要望書が提出されているが、これまでの経過と今後の対応は。

地域産業の振興、そしてまちづくりなどの分野において大学と連携協力協定を締結し、協働事業がスタートしている。そういった大学との交流連携の中で学部学科の誘致の話をし、お互いに協議を重ねてきた。今後の対応は必要な用地の確保とか財政的支援策とかまだ条件面で課題があり十分検討し、早期合意に向けて協議を進める。

の交流プラザの駐車場に使用すると説明があっており、その点はどうか。

**市長** 公民館跡地周辺をどう活用していくか、大学側が学校を建ててそして駐車場を確保できれば一番良いが、その辺の構想を立てていく必要がある。

### その他の質問

- 国道203号佐賀唐津道路について
- 広域農道の県道昇格について
- 市道江利大寺線の整備状況
- 三日月地区の市道、農道の朝夕の交通混雑解消は



▲看護学部設置の要望用地

**樋渡** 設置予定場所が小城公民館跡地となっているが、その周辺の駐車場は現在建設中



深川 高志

## 小城市民病院の経営運営方針とは

病院事業管理者

診療報酬制度に迅速かつ的確に対応する

**深川** 現在の小城市民病院での、小児科、産婦人科および周産期医療の現状はどうなっているのか。

**病院事業管理者** 小児科、産婦人科診療は、地域のニーズを考慮して、当分は現在の診療体制を維持、継続していく考えである。周産期医療は、現在やっている。大学からの医師の派遣が期待できない中小の自治体病院での周産期医療は極めて難しい。つまり分娩を取り扱うのは当院としては断念せざるを得ないと考えている。



▲市民の健康づくりの拠点をめざす小城市民病院

である。周産期医療は、現在やっている。大学からの医師の派遣が期待できない中小の自治体病院での周産期医療は極めて難しい。つまり分娩を取り扱うのは当院としては断念せざるを得ないと考えている。



江島佐知子

### 生活困窮者自立支援は効果的に

市長 関係部署、関係機関と連携して実施する

江島 来年度から生活困窮者自立支援事業が始まるが、効果的な運営のためには、

- ①生活支援相談の現状は。
- ②担当部署と体制は。
- ③市民への周知の方法は。

④関係部署や関係機関との連携は。

⑤個人情報取り扱いは。

市長 ①年間約1000件の相談がある。約40件が生活保護の申請をしている。残りの相談は多岐にわたっていて、法テラスやハローワーク等連携して相談を受けている。

②福祉課が直接担当する。社会福祉士の資格を持つ職員1名を主任相談員、相談支援員を嘱託で1名配置する。

③市報等にも掲載する。地域に詳しく

▲生活困窮者自立支援相談は福祉課窓口で



い民生委員にも説明し、協力を求める。

④健康増進課、教育委員会、税務課、市民課などが想定できる。

⑤相談申し込みの中で、情報共有についての同意をすることで、署名捺印をもらう。

### 西九州大学地域看護学部の誘致は

江島 西九州大学地域看護学部の誘致についての経過と今後の対応は。

市長 ハードルは高いが、地元との協力もお願いしながら国・県との協議等、誘致に向けて力を入れていく。



西 正博

### 情報通信機器の更なる利活用について

教育長 今後は財源の許すところでソフト面を充実したい

西 他の自治体の中には、学校現場でICT(情報通信技術)機器の先進的な使い方をされている事例もある。小城市としての今後の使用用途などの方向性は。

教育長 小城市の学校現場でのICT機器の整備環境は、県内でも有数と言われる程、充実している。今後は機器の更なる導入より、デジタル教材などソフト面の充実などを図りたい。

西 常任委員会で伊万里市の図書館を視察し、国立国会図書館のデータベースと市民の方がアクセスが可能な状況を見

た。多額な投資は不要と思われたので、小城市内図書館への導入の検討を勧めていたが、検討結果は。

教育長 小城市民図書館でも、来年4月に配信サービスを受けられるよう、実施要綱を作成し、国立国会図書館へ承認申請の準備をしている。三日月図書館で120万点ほどのデジタルデータが閲覧できるようにする。

### その他の質問

○「公共施設等総合管理計画」の推進について  
○市民生活の安心安全への施策について



▲ICT機器を使った学校での授業風景



松尾 義幸

## 牛津駅絵図は江戸時代の作では

### 教育長

さまざまな情報から年代を絞り込みたい

**松尾** ①牛津駅絵図の作成時期は。  
②牛津駅絵図の重要文化財指定の検討は。

### 教育長

①「小城城下と

牛津宿」の展示の準備段階で佐賀大学の担当教官と考察を加え、絵図の制作年代は明治初期と判断し、展示会場の説明文は

り、同時期の絵図面などと比較しながら小城市文化財保護審議会や佐賀大学の意見も伺い検討する。

### 松尾

牛津町史物語に

は、「玉屋の創始者、田中丸善蔵は、1852年(嘉永5年)立町の田中丸重助の三男として生れる」とある。この牛津駅絵図の馬立場の2、3軒隣に「重助」とあることから江戸時代に作られたのではないか。

### 文化課長

江戸時代後期までさかのぼるのではな

▲現在の牛津高校入口附近、「重助」とある  
ら田中丸商店があつた場所に違う人物の住居がある点などから、江戸期にさかのぼるのではとの指摘も受けている。さまざまな情報を照らし合わせ制作年代を絞り込みたい。  
②牛津宿の様子を詳しく知る資料であ

### 下村

農政改革で交付金、米価など、前年度と比べて小城市全体で収入減の総額は。

**下村** 農政改革で交付金、米価など、前年度と比べて小城市全体で収入減の総額は。

### 農林水産課長

26年度の減額は交付金と米の販売量で計算すると4億2,600万円程度になる。

### 下村

農業政策によって収入減になる。先が見えない農政では小城市の基幹産業の将来は。

### 市長

兼業農家がこれ以上減ったら集落がなくなるのではないかと不安要素がある。国に対し物申す必要がある。



下村 仁司

## 新農政改革に対する小城市の対応は

### 市長

新農業政策4つの改革について周知、説明している

金は7,500円減額されたが、農地維持交付金3,000円が新設されている。説明、取組みすべきでは。

### 産業部長

農業者のみでも交付を受けられるようになってきている。PRして一生懸命推進する。

### 下村

新しい政策のPRをして、交付金を受ける認定農家を増やすべきでは。

### 産業部長

市役所に相談いただきたい。



▲所得向上のための裏作振興



岸川 英樹

## 人口減少を食いとめるには

市長

企業誘致と定住促進は新しい制度を考える

**農** 定住人口の増加対策は、企業誘致、雇用の確保が必要だと答弁しているが、どう取り組んでいるのか。

増やすため小城蛭の郷ファクトリーパークを造成、企業誘致を進めている。県の企業立地課並に首都圏営業本部等と連携しながら訪問をやっている。

**農** 東・関西に拠点がある企業のみならず、福岡に拠点がある企業も回っている。

**大坪** 広域農道の破損がひどいが通常の管理はどうされているか、また毎月1回パトロール点検しているというのだが、どうして補修されないか。



大坪 徳廣

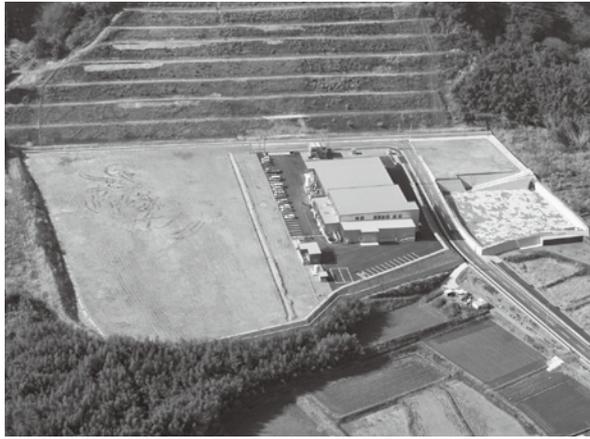
## 広域農道の今後の対応について

市長

県道昇格へ小城市単独で要請していく

**建設部長** 車上からの目視が多く指摘を受けなければわからなかった点もあり、路面性状調査を行い、舗装の打ち替え等適切な実施時期を判断したい。

併して10年、4つの町がそれぞれ特色もある、カラーもある、そういうなかで小城市として一つのテーマを持ってまちづくりをやっていきたい。小城市の全体のまちづくり、人づくり、また観光、福祉、教育などにつながるようなきっかけになればと思っている。



▲企業誘致が望まれる小城蛭の郷ファクトリーパーク

**市長** 事業として、雇用の確保により定住人口を

**農** 会社

訪問の旅費が26年度は38%しか消化していない。企業誘致の実績が出ていないが。

**産業部長**

今後また訪問する。今年度は関

**市長** 24年度より3年間、定住促進奨励金及び三世代同居奨励金の交付を行っており、成果はあったと考える。この事業を見直した中で、芦刈、砥川、三里の3地区を指定しながら、新しい制度を設けていきたい。

その他の質問

○観光振興の考え方



▲損傷がひどい広域農道の状況

資源磨き構想について

**大坪** アイルの

温泉を核とする温泉、スポーツ、医療が連携した拠点づくりの一つとして野球の本球場建設は考えられないか。

**市長** 今回目指しているのは合

その他の質問

- 石木交差点整備状況
- 市道、初田・石木線
- 甲柳原西交差点、通学路、安全対策について
- JAさが佐城選果場南の道路対策について

りたい方は、会議録が各町図書館にありますのでご覧下さい。議録の設置及びホームページ掲載は3月末の予定です。



平野 泰造

## 健康福祉日本一をめざし、 人生の先輩達へ

市長

小城市版の健康都市宣言を考  
えたい

**平野** 日本一にはどのよ  
うに取り組まれるか。

- ①健康長寿をめざし。
- ②認知症関連。
- ③人生最期のとき（孤独死ゼロをめざして）。

です。

**福祉部長**

②危険因子に  
生活習慣病がある。出前

**市長** ①小城市版健康都  
市宣言を打ち上げ、健康  
で長寿の地域づくりをめ

講座、予防教室開催。な  
られた場合は見守りキー  
ホルダー事業により包括  
支援センターを中心に警  
察・消防・福祉課・各介  
護所の連携を図り、情報  
の共有化を進める。



▲健康長寿をめざして

③高齢者夫婦・一  
人暮らしの世帯  
は、全体の21・  
3%。見守り体制  
は民生委員さん、  
社協のヘルパーさ  
んの訪問、配食・  
福祉サービスをは  
じめ、地域の安心  
ネットワークで見  
守る。

**川上頭首工の水利  
権、かんがい用水と  
雑用水について**

**平野** 平成11年の川上頭  
首工に係る多布施川等に

おける雑用水の確認書の  
締結が国県市町土地改良  
区でされている。その項  
目に鑑み

①雑用水は慣行として水  
利権は残っているか。

②永田地区の区長連名で  
全体増量の要望が上がっ  
ている。協議会を市長の  
要請で開かれないか。

**市長** ①慣行的な水利権  
はあると思う。

②幹事会で調査を行い、  
調査のもと協議会を再開  
させたい。



香月 千恵美

## 市内に病児・病後児保育の 医院がなぜないか

教育長

一番いいのは病院併設型。  
努力していく

**香月** 病児・病後児保育  
の現状と利用状況は。

**教育長** 佐賀市の2施  
設、江北町の1施設にこ  
の事業を委託しており、  
平成25年度の利用実績と  
して佐賀市26件、江北町  
65件、子育て総合支援事  
業のファミリーサポート  
事業の中で27件。

**香月** 今後の方向性につ  
いてどう考えるか。

**教育長** 市内での導入  
（病院併設）について現  
況として難しいが、努力  
する。民営化を進める中  
での保育園での事業展開  
が現実的と思う。



▲病児・病後児保育を受け入れている病院（江北町）

の子育て世代の定  
住促進をはかるべ  
きでは。

**市長** 空き家の課  
題や子育て世代の  
定住の視点をふま  
えて検討する。

**機構改革のね  
らいは**

**香月** 行政課題と  
して何を捉えての  
再編か。

**市長** 地方分権の  
進展、少子高齢化、災害  
など危機管理強化、空き  
家の効率的な業務の一元  
化などに対応するため。

**香月** 子育て世代の住宅  
支援として、市営住宅で  
の子育て枠募集や、空き  
家バンク制度を導入し、  
管理されている空き家で

総務常任委員会 視察研修報告

(期間) 10月29日～31日

(目的及び視察地)

○空き家対策について

(東京都大田区区議会)

○防災について

(東京都北区防災センター)

○決算事務事業評価について

(東京都多摩市市議会)

1日目は、大田区において、全国で初めて危険な家を自治体が解体するという空き家対策事業を実施したことを研修した。解体することには多くの問題はあ

るが、小城市でも今後取り組む必要性を感じた。

2日目は、北区の防災セ



▲大田区での視察のようす

文教厚生常任委員会 視察研修報告

(期間) 11月12日～14日

(目的及び視察地)

○日本語教育について

(東京都世田谷区)

○孤独死ゼロ作戦について

(千葉県松戸市常盤平団地)

○生活困窮者支援モデルについて

(東京都足立区)

1日目は、世田谷区の教科日本語の取り組みについて視察。文科省から教育特区として平成19年に区内公立小中学校93校で授業開始

に力点を置き小中学校全校で古典を導入。各学校に

日本語の担当者を配置。時の教育長が導入に熱

心。最大の狙いは、言葉の

意味や背景を知り、深く

考えること。考える力を

養う。中学の国語の教員

から、こんなに古典に抵抗

感のない子どもたちは

初めてとの感想が出された。

2日目は、千葉県松戸

市の常盤平団地の孤独死

ゼロ作戦。50年前の2万

人を超えたモダンな団地

は、今総世帯数5,35

6戸。3年前に死後3年



▲千葉県松戸市での孤独死ゼロ作戦の説明を受ける

産業建設常任委員会 視察研修報告

(期間) 11月17日～19日

(目的及び視察地)

○「地域振興ふれあい拠点施設」について

(埼玉県春日部市)

○中心商店街の空き店舗対策や観光客の回遊性について

(群馬県富岡市)

○地方創生とオスプレイ配備計画について

(衆議院会館)

1日目は、地域振興ふれあい拠点施設における、管理、運営及び施設利用状況や協働団体の活用状況の調査を行った。管理について

は指定管理者に委託されており、建物の特徴、特性を生かして最大限の利用促進

をする能力が問われている。利用状況等については、

市民活動団体などが使用登録されており、開設当初は

152団体が登録されていたが現在379団体と増加

していた。

また、センターの特徴として、市民活動機能にある

といえる。市民活動をしたい人への組織の立ち上げ、

運営、活動などについて

専門家によるアドバイス、

相談、コンサルティング機

能等が整備されていた。

2日目は、富岡市の中心

商店街で富岡製糸場来場者

に対するサービス向上が図

られており、「おもてなしと

回遊性」向上事業が実施さ



▲春日部市での視察のようす

# 議員活動あれこれ



小城市福祉大会  
(9月27日)



芦刈小学校改築落成式  
(10月28日)



梧桐筆「鎮國之山」  
銅碑建立除幕式  
(11月19日)



オスプレイ佐賀空港配備  
についての説明会  
(12月17日)

## 平成26年度 小城市へ行政視察(受入)一覧

視察日	委員会	視察来庁	視察内容
平成26年7月9日	日本共産党 守口市会議員団	大阪府 守口市	認定こども園について (小城幼稚園・わかば保育園)
平成26年5月13日	民生教育 常任委員会	沖縄県 名護市	安心生活創造事業(買い物支援について)
平成26年5月8日	総務 常任委員会	鹿児島県 南九州市	庁舎及び組織の在り方について
平成26年4月11日	会派緑風会	長崎県 大村市	小城市民図書館の運営について

### 表紙の紹介

大天満神社四脚門  
(市重要文化財、昭和59年指定、芦刈町芦溝571 大天満神社)

神社の創建は建暦(一一二一一)年(一一二二)・建保(一一二二二)・一二一九)年間といわれ、芦刈町では一番古い社で関東から下向した千葉氏はじめ当時の鴨打、徳島、持永、南里、神代氏の歴代領主が崇敬した郷社。四脚門は一間一戸の四脚門で、屋根は切妻造りの本瓦葺。現在、扉は欠失し門の両側にある造り出しは後補である。自然石の礎石に角柱を建てていたと考えられるが、土中に埋もれたままである。本瓦葺も現在北面にのみ残存している。建立年代は記録がなくはつきりしないが、虹梁の彫刻、木鼻の様式などからみて、江戸時代中期の建立であろうと推定される。また、門の側面の躰股にとりつけられた家紋及び門前の肥前鳥居の刻銘などから神代氏ゆかりの四脚門であろうと考えられる。

- \*1 欠損した箇所などを後世に補修して直すこと。
- \*2 社寺建築における梁の一種で、虹のようにやや弓なりに曲がっているもの。
- \*3 社寺建築で、頭貫(柱の上部を連結する材)・肘木(斗と組み合わせる水平の材)・虹梁などの端が柱の外側に突き出した部分。握り拳や象・獅子などにかたどった彫刻が施される。
- \*4 社寺建築で荷重を支えるための部材。

## お知らせ

### 第1回定例会(予定)のお知らせ

3月2日(月)	定例会 《開会》	10日(火)	議案質疑
3日(火)	一般質問	11日(水)	常任委員会
4日(水)	一般質問	12日(木)	常任委員会
5日(木)	一般質問	16日(月)	常任委員会
6日(金)	一般質問	20日(金)	討論・採決・閉会
9日(月)	議案質疑	(* 日程など都合により変更になる場合もあります。)	

# 地域の学び舎

小城市立

み か つき

## 三日月小学校

創立 明治8(1875)年

児童生徒数 813名(男子426名、女子387名)

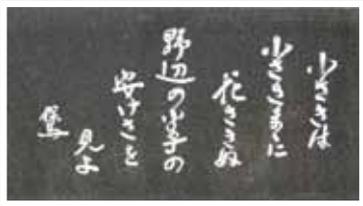
### 学校教育目標

心豊かな 賢く たくましい子どもの育成

### 目指す子ども像

～夢・希望に向かって  
チャレンジする子ども～

- み みずから学ぶ子ども
- か かんがえて行動する子ども
- つ つよい体・たくましい心の子とも
- き きれいなふるさとを愛する子ども



▲高田保馬博士の句碑

### 主な行事・事業

- ◆親子行事で楽しむ「三日月デー」
- ◆学年ごとに学習やがんばりを発表する「なかよし集会」
- ◆クラスで鍛え競い合う「ながなわ集会」。6年生の長縄跳びのレベルはとて高いです。
- ◆地域や企業の方の協力で取り組む5年生の「大豆作り」。作った大豆で、豆腐や納豆を作ります。

三日月小学校 校歌

一、三日月町は 広い町  
共に生まれた 私たち  
歴史の長い 学校で  
強く 仲よく学びましょう

二、育て下さる 先生の  
教えいっばい 身につけて  
一人一人の 人間に  
自分を鍛え 上げましょう

三、足を大地に ふみ固め  
空まで若き 手を伸ばし  
体元気に たましいは  
正義の熱に 燃えましょう

四、いすれ世の為 国の為  
ただ真黒に 働いて  
身の幸福を つくります  
父母の町 忘れず



### 学校の特色や特長

- 【地域のじまん】  
○かつて「米作り日本一」と言われた田園が広がる農村地帯です。自然が豊かで、素朴でのびのびした風土の中で子どもたちは育っています。高田保馬博士(経済学者、歌人)の出身地です。
- 【児童・学校のじまん】  
○児童数が小城市内でも一番多く、勉強やスポーツなどの様々な面で活躍している子どもがたくさんいます。  
○無邪気で好奇心が強い子どもが多く、のびのびした雰囲気の学校です。  
○三日月中学校と隣り合わせになっており、小学校と中学校が小中一貫校のように連携・協力して、教育活動を行っています。中学生と小学生が仲良く、中学生の姿を目標にして小学校生活を頑張っています。  
○高田保馬博士の句碑があります。そこには「小さきは 小さきままに 花さきぬ 野辺の小草の 安けさを見よ」と書かれており、毎日、句碑を見ながら登校しています。校歌の詞も博士に作って頂きました。博士を目標に勉強・スポーツにがんばっています。

## 編集後記

今年も早いものでもう二月となった。暦の上では立春を迎え、もう春はすぐそこまで来ているが三寒四温をくり返しながら着実に暖かくなるだろう。春は卒業や進級・入学、移動や転勤のシーズン。本人はもとより、家族にも色々な別れや出会いがあるだろう。

小城市議会において、3月議会は、平成27年度の予算の審議を行う。市民の方の生活に直接関わる部分や教育・産業・インフラ整備などに使われる予算や、年々増え続けている社会保障費など多岐にわたるが、なるべく少ないお金で、なるべく大きな効果を出せるよう慎重な議論を進めていきたい。

(西)

委員長 富永 正樹  
副委員長 光岡 実  
委員 江島佐知子  
西 正博  
永 和正  
松並 陽一